



〒661-0003 尼崎市富松町 4 丁目 31 番 1 号 TEL(06)6421-0620 Fax(06)6421-2169 http://www.ama-net.ed.jp/school/J15/index.html

## クリスマス・セーター 共感できる人間になってほしい

エディは 12 歳の少年です。家族 3 人で幸せな生活を送っていましたが、お父さんが病気で亡くなり生活は一変します。お母さんは一生懸命働きますが暮らしは苦しくなり、エディはいろいろ我慢を強いられます。でも今年のクリスマス・プレゼントは以前から欲しかった赤い自転車もらえるだろうと思っていました。自転車を買ってもらうために、ごみを出したり皿洗いをするなど、たくさんのお手伝いをしたからです。また、自転車が欲しいというサインをいつもお母さんに出していました。しかし、クリスマス・プレゼントは自転車ではなくお母さんの手編みのセーターでした。家が貧しいことは分かっているのですが、エディの落胆ぶりは大きいものでした。



その日、エディと母親は車で片道 1 時間半かかる祖父の家に行きました。祖父の家に行ってもエディの心は晴れず、ついお母さんの編んでくれたセーターを乱暴に扱います。床に放り投げているセーターを見てお母さんはつぶやきます。

「こんな扱いしないで。」

その日は祖父の家に泊まる予定でしたが、おもしろくないエディは家に帰りたと言います。お母さんは疲れているから何度も泊まろうと言いますが、エディは聞きません。しかたなく帰ることとなり、車の中でお母さんは言います。「お母さんは仕事を 4 つ掛け持ちしている。この 2 年間ろくに眠っていない。つらいのはお母さんも同じ。つらいつらいと不満を言うこともできる。自力で何とかするしかないと気づくこともできる。幸せになるか、みじめな生き方をするか、それは自分で選ぶものよ。」しかし、エディは心を開くことなく、黙ってしまい、やがて眠ってしまいます。そしてお母さんも……。



気がつくエディは病院のベッドの上でした。お母さんは居眠り運転の事故で亡くなってしまったのです。最愛のお母さんを亡くしてはじめて、エディは自分が失ったものの大きさに気がつきます。手編みのセーターをプレゼントしてくれたお母さんがいるだけで自分は幸せだったのだ、自転車などいらなかった……。

(グレン・ベック『クリスマス・セーター』から)

この話の最後はハッピーエンドで終わりますが、これ以上は書かないでおきます。この本の内容から 2 つのメッセージを皆さんに伝えます。1 つは、お母さんの言った言葉です。人は不平不満だらけのみじめな生き方を選ぶこともできるし、不満を言わず自力で何とかしようとすることもできます。「幸せになるか、みじめな生き方をするか、それは自分で選ぶもの」ということです。

もう 1 つは、大切なものを失うことになった原因は自分がお母さんの気持ちを分かろうとしなかったことです。お母さんの気持ちを理解していればセーターを乱暴に扱うこともしないし、心のこもった手編みのセーターのプレゼントで十分うれしい気持ちになるはずでした。また、疲れているお母さんのことを思えば、自分勝手に帰るとは言えないわけで、お母さんを亡くすという取り返しのつかないことにもならなかったはずです。息子がどんなに自転車を欲しがっているかが分かっているにも買ってやることのできないお母さんのつらい気持ちを、お母さんの立場に立って理解すること、これは「共感」ということです。「共感できる人間になってほしい」、これが 2 つ目の大事なメッセージです。

さて、みなさんは覚えているでしょうか。2 学期の始業式のとき「共感」についてのお話をしました。2 学期の終わりにあたり、どのくらいの人たちと「共感」することができたか思い出してください。毎日の学校生活の中では、いろいろなことが起こります。うれしいこと、楽しいこともありますし、つらいこと、嫌なこともあります。それらさまざまな思いを共感し合い、共有し合うことができたでしょうか。他の人に共感できる人間、他の人と問題意識を共有し共に歩いていくことができる人間、そんな人間に成長して欲しいと願っています。

## 生徒会役員決まる

1 日の立会演説会を経て、5 日に役員改選の投票を行いました。開票の結果、次のとおり決定しました。自分たちの生活をよりよいものにしていく自治活動を展開してくれるよう願っています。前生徒会役員の皆さん、一年間ご苦労様でした。新役員の皆さんの活躍を期待しています。



### < 生徒会役員 >

- |         |             |
|---------|-------------|
| 会長      | 福本 成 (2-2)  |
| 副会長     | 山川ひより (1-5) |
| 会計      | 下地 芽希 (1-1) |
| (専門委員会) |             |
| 風紀      | 高路 萌生 (2-3) |
| 体育      | 駒田 大樹 (2-4) |
| 図書      | 宮本 大雅 (2-5) |
| 放送      | 高井 仁喜 (2-5) |

- |    |             |
|----|-------------|
| 文化 | 徳重 菜里 (2-4) |
| 美化 | 勝間 涼乃 (2-2) |
| 保健 | 室 拓磨 (2-3)  |

## 感謝

### ありがとうございました

前会長 三木 春奈

塚口中学校の生徒会長として執行部の仲間たちと仕事をしてきましたが、こんなにも早く過ぎる一年間は初めてでした。それは、体育大会や文化発表会などの行事において、塚中生全員が一丸となって団結し、成功させることができたからです。成功の裏には、それぞれのドラマがあったことだろうと思いますが、それが一つの大きな作品となり、素晴らしいものを生み出したのではないかと思います。一年間という限られた時間の中で、私たちの代ではできなかったことも多くありました。しかし、それらは新執行部の後輩たちが引き継いでくれると信じています。これからも塚口中学校をより良くするために、伝統を受け継ぎ、革新し続けてください。

最後に、今まで協力してくれた皆さん、多くのアドバイスをくださった先生方、そして忙しくても笑顔で仕事に取り組んでくれた執行部、一年間、本当にありがとうございました。

